

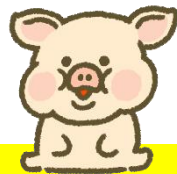
- ★下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所
- ★むつ地区家畜衛生推進協議会

アフリカ豚熱(ASF)の発生防止対策を！

アフリカ豚熱は、アフリカ豚熱ウイルスによる豚やいのししの伝染病です。

発熱や全身の出血性病変を呈し、発症した際の死亡率は約100%とされています。
ワクチンや治療法はなく、農場での防疫対策が非常に重要です。

現時点では国内での発生はありませんが、アジア諸国では継続的に発生しており、発生国では大きな被害を受けています。

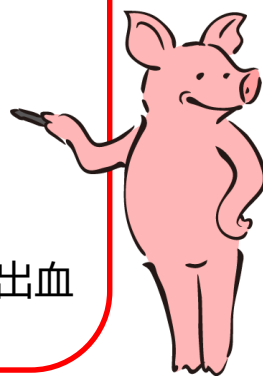


こんな時はすぐに家保へ連絡してください！

★耳翼、下腹部、四肢等に紫斑があること。

★同じ畜房内(1つの畜房につき1頭ずつ飼育している場合は同一畜舎内)で下のいずれかの症状を示す家畜が当日及びその前の6日(合計7日間)に増加していること。

- ①摂氏40度以上の発熱、元気消失または食欲減退
- ②便秘または下痢
- ③結膜炎
- ④歩行困難、後躯麻痺またはけいれん
- ⑤削瘦、被毛粗剛または発育不良(いわゆる「ひね豚」)
- ⑥流死産等の異常産
- ⑦血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血
または血便



※獣医師の診断により他の疾病であることが明らかな場合を除く

★同じ畜舎内で当日及びその前の6日(合計7日間)に複数の繁殖または肥育豚が突然死亡すること。

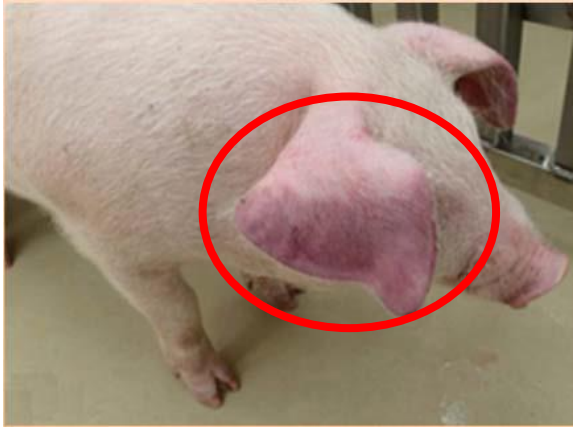
※設備の故障、気温の急激な変化、火災、風水害など原因が明らかな場合を除く

同封した農林水産省のリーフレットもご覧ください。

裏面に続く→

アフリカ豚熱の主な症状

- 発熱 (40~42°C)
- 皮下出血
- チアノーゼ(紫斑)
- 粘血便
- 腹式呼吸
- 突然死



チアノーゼ

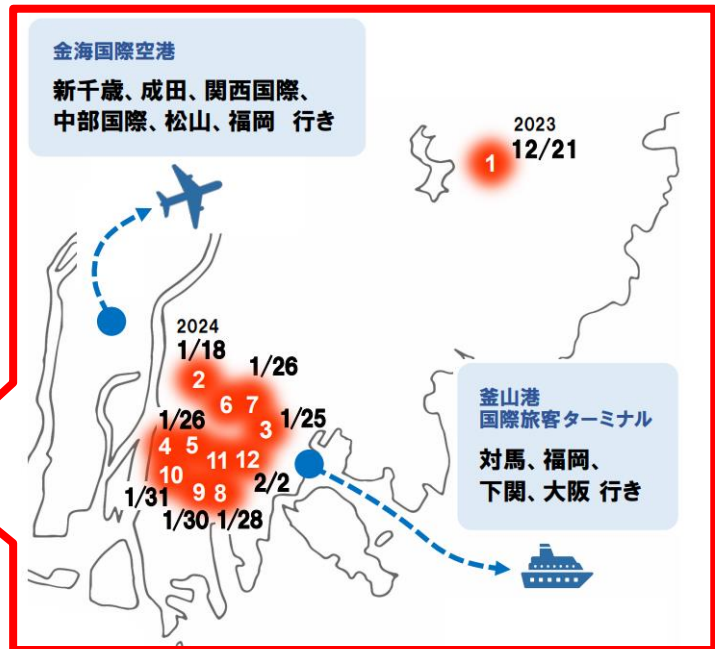
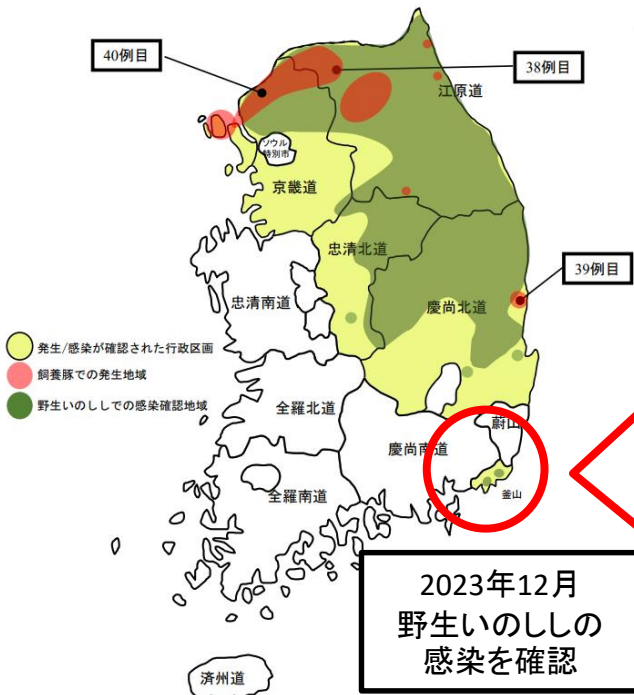


死亡

死亡率は
ほぼ100%

韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

韓国の釜山市では、昨年12月から現在にかけて、日本行きの空港やフェリー港付近での野生いのししにおける感染が確認されています。



飼養している家畜に異状が見られた場合には、直ちに
獣医師、または家畜保健衛生所にご連絡ください。

★むつ家畜保健衛生所

電話：0175-22-1254

FAX：0175-22-1259

夜間及び休日の連絡先：090-5841-6810